

国指定重要無形文化財保持者異動について

藤沢市名誉市民であり、人間国宝（重要無形文化財 工芸技術「友禅」保持者）である田島比呂子（博）氏が、平成26年1月19日にご逝去されました。

同氏は、平成11年に国の重要無形文化財（工芸技術「友禅」）保持者として認定され、同年藤沢市名誉市民として顕彰。

本市の市制60周年、70周年の際には、「田島比呂子の友禅作品展」を開催させていただき、自然に生きる動植物の生き生きとした命のあり様や自然界の厳しさを愛情込めた色調で、多くの方を魅了しました。

日本工芸の最高峰にあられた田島比呂子（博）氏のご冥福を心からお祈り申し上げます。

田島氏年譜は次頁資料のとおり

資料

田島比呂子(本名 博)。友禅作家。男性。91歳。東京生まれ。藤沢市鵠沼海岸に居住。

昭和11年、模様師・高村樵耕(たかむらしょうこう)方に入門し、樵耕・柳治(りゅうじ)父子に友禅を学ぶ。

昭和29年、模様師として独立し、社団法人日本工芸会に入会。その後、同会の理事、常任理事、参与を務める。平成10年に第45回日本伝統工芸展保持者賞(優秀賞)を受賞し、平成11年には重要無形文化財「友禅」保持者(人間国宝)に認定される。同年、藤沢市名誉市民となる。

田島氏の作品の多くは、自然に生きる動植物を主題にしている。現地での取材をもとに推敲を重ね、糊置きや染めに独自の工夫を施すなど制作のほぼ全ての工程を一人で行うことで、独自の表現による自然の美しさやおもしろさを追求している。

○展示会で発表した作品は約130点。

○作品の主な所蔵先 (個人は含まない)

文化庁 1点、東京国立近代美術館 2点、東京国立博物館 2点、シルク博物館 4点、(遠山記念館 1点※茶屋染め)

～田島氏年譜～

1922年(大正11年)2月4日、東京に生まれる。

1936年(昭和11年)模様師、高村樵耕方に入門。友禅を学ぶ。

1954年(昭和29年)日本工芸会入会、作家活動開始

1959年(昭和34年)第6回 日本伝統工芸展に初入選(以降、現在まで毎年入選)

1966年(昭和41年)日本工芸会総裁賞を授賞

1987年(昭和62年)紫綬褒章を受章

1993年(平成5年)勲四等旭日小綬章を授賞

1998年(平成10年)第45回日本伝統工芸展保持者賞(優秀賞)

1999年(平成11年)重要無形文化財(工芸技術「友禅」)保持者として認定される。藤沢市名誉市民として顕彰される。(当時77歳)

2000年(平成12年)10月に藤沢市施行60周年記念特別展として「人間国宝・名誉市民 田島比呂子・友禅展」を藤沢市民ギャラリーで開催。

2009年(平成21年)記録映画「創作に生きる 友禅作家 田島比呂子」を制作。

2011年(平成23年)2月に藤沢市市制施行70周年記念特別展として「田島比呂子の友禅ー野山の息吹に染む衣ー」を藤沢市民ギャラリーで開催。

2014年(平成26年)1月19日、逝去